

# 檜の木のように

校長 輿水秀志

秋も深まり、巨摩高校の近くの楡形総合公園や巨摩高校に比較的近い古長禅寺では、澄み切った青空に紅葉した木々が映えています。古長禅寺は信玄公の母である大井夫人の菩提寺ですが、寺と紅葉からは、遙か昔の時代に思いを馳せながら美しさを堪能することができます。本校の前庭にも色づいた櫟や桜の木があり、目を楽しませてくれます。前庭には、「北国の春」の歌詞の中に出てくる芳香臭のゴブシの木もあり、何か親しみを感じています。さて、櫟の木と並んで有名な高木に櫟の木がありますが、櫟の木は幹を取り巻く皮がある時は少しずつ成長していき、ある程度太くなると内部の成長が強まり、エネルギーが蓄積されてきます。そして冬のある日に「一気にエネルギーが爆発し、皮が剥がれ落ちてしまうのだそうです。そして皮むけたその瞬間から急速な成長を遂げていくということなんです。櫟はこのような蓄積の段階を経て大きく成長していきま

と一生懸命励んでおり、その姿に感動する毎日ですが、受験勉強も日頃の学習も部活動も櫟の木と同じだと思えます。力が伸びないと悩んだり諦めたりするのはなく、いつの日か爆発的に成長し、大きな成果を修める日が必ずやって来ると信じ、日々努力しながら蓄積を続けましょう。「努力しても力が伸びない、思うようにならない」と言っている時は、まだまだ皆さんの内部の蓄積が爆発するところまで到達していないということになります。

秋は、気候も良く勉強の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋などと言われていますので、巨摩高校生諸君、自分を信じ仲間を信じながら櫟の木のように皮剥けるようになりなすまで、各自の夢に向かって日々力を蓄積していきましょう。

この晩秋の好季節に、さわやかな笑顔でよくあいさつをしつづけてくれたり、様々な場面で温かい思いやりを示してくる巨摩高校生一人ひとりが、それぞれの持ち味を発揮して輝いてくれることを期待し、応援し続けます。



大学進学を目指してしっかり勉強!!スクールライフもしっかりエンジョイ!!

## これが、巨摩高校の理数コース。

理数コースの授業は、理系学部はもちろん文系学部への進学希望にも対応しているため、自分の志望に応じた科目を重点的に学ぶことができます。みんな大学進学を目指して頑張っていますが、学習面だけでなく、部活動や生徒会活動にもとても積極的で、勉強と両立させて充実した毎日を送っています。また、理数コースでは、夏季休業を利用した行事も行われています。2年生の生物選択者対象の自然科学教室では水生昆虫の採集や観察を、1年生対象のサイエンス講座では、講師を招いての実験や山梨県衛生公害研究所の見学を行いました。さらに、山梨大学工学部との高大連携講座では、理数コースの生徒を中心に1年生が熱心に取り組みました。



理数コース  
特集01

理系・文系どちらの力も身につけることも可能です。

1年 吉田かりん

私は学習や部活動を頑張りがら毎日充実した生活を送っています。入学当初、数学にやや苦手意識を持っていましたが、分かりやすい指導と授業での応用問題への取り組みにより、今は得意教科の一つとなっています。もちろん理数コースでは理数系科目だけでなく文系科目もしっかり学習できるので理系・文系どちらの力を身につけることも可能です。また、勉強ばかりという雰囲気とは違い、ほとんどの人が部活動や生徒会などで活動している、活気あるクラスです。私も様々なものに挑戦し、人として大きく成長できるように今後も頑張っていきたいです。

模擬試験では、県内でも上位の成績を取ることができました。

2年 本梅寛之

僕たちのクラスはとても雰囲気良く、毎日集中して学習に取り組んでいます。これは理数コースの特徴である



「クラス替えがない」ということが大きく影響しているのではないかと思います。また、先生方も工夫を凝らして質の高い授業を展開しています。先日の模擬試験では、数学で県内でも上位の成績を取ることができました。これもこの環境の下で勉強に励んできたことと、得意分野を伸ばしてくる先生方の指導があったからだと思います。自分がどのような成長していくのかはまだまだ未知数ですが、これからも充実した高校生活を送れるように努力していきたいと思っています。

中央大学経済学部  
合格することができました。

3年 花輪研斗

クラスは、3年間共に勉強してきたということもあり、皆仲が良いです。私は、1・2年次は理系でしたが、経済学を専攻したいと考え、3年次に文転しました。私は数学が得意です。文系で数学が得意ということは、入試の際に大きなアピールポイントとなり、志望大学に合格することができました。これも理数コースに在籍していたからこそだと思います。3年になった今、高校入試での私の選択は間違っていないかと確信しています。

巨摩高にゆーす

### 芸術鑑賞会

人と人とのつながりは大切にすべき……私も家族を大切にしよう……と思った。

10月7日、桃源文化会館において芸術鑑賞会が行われ、演劇「メッセージ時代を駆けぬけて」を鑑賞しました。過去の2つの時代にタイムスリップした6人が、過去の人々との出会いを通して、今の時代に忘れがちな「大切なこと」に気付いていくというストーリーでした。生徒の感想には、「現代は便利さが増し人情とか忘れかけているが、人と人とのつながりは大切にすべきだと思った。私も家族を大切にしようと思った。」「今の時代がある前に、様々な時代があり、いろんな人が築いたものの上に私たちは生きていると思った。」等があり、それぞれの心に何か感じるものがあったようです。



### 山梨県 高等学校 芸術文化祭



### アナウンス部門で 芸術文化祭賞を受賞。

第30回山梨県高等学校芸術文化祭が、総合開会式が行われた11月5日を中心に各部門ごとに開催され、巨摩高校からは9部門に参加しました。その結果、放送のアナウンス部門で1年生の河西江里奈さんが芸術文化祭賞を受賞し、来年度の全国総文祭へ出場することになりました。また、文学部門(俳句)で3年生の永樟健太君が優秀賞、美術・工芸部門で美術部2年生の中込夢実さんが奨励賞を獲得しました。さらに、吹奏楽部と茶道部も優秀賞に選ばれました。



### 受賞

巨摩高関係者のお二人が、大きな賞を受賞しました。



新聞報道などで既知っている人も多いと思いますが、巨摩高校に関係するお二人が大きな賞に輝きました。美術の非常勤講師、大平恵子先生の「花」が第29回望月春江賞を受賞しました。応募127点の中から選ばれ、「花の柔らかさや果実の量感がしっかり描き込まれていて、好印象。全体を暖色でうまくまとめ、穏やかさも感じられる。」と評価されました。また、本校卒業生の斎藤将仁(ペンネーム森屋寛治)さんの小説「オデカケ」が小説家の登竜門として知られている第89回オール読物新人賞(文藝春秋主催)に選ばれました。